

もろみ日誌クラウド

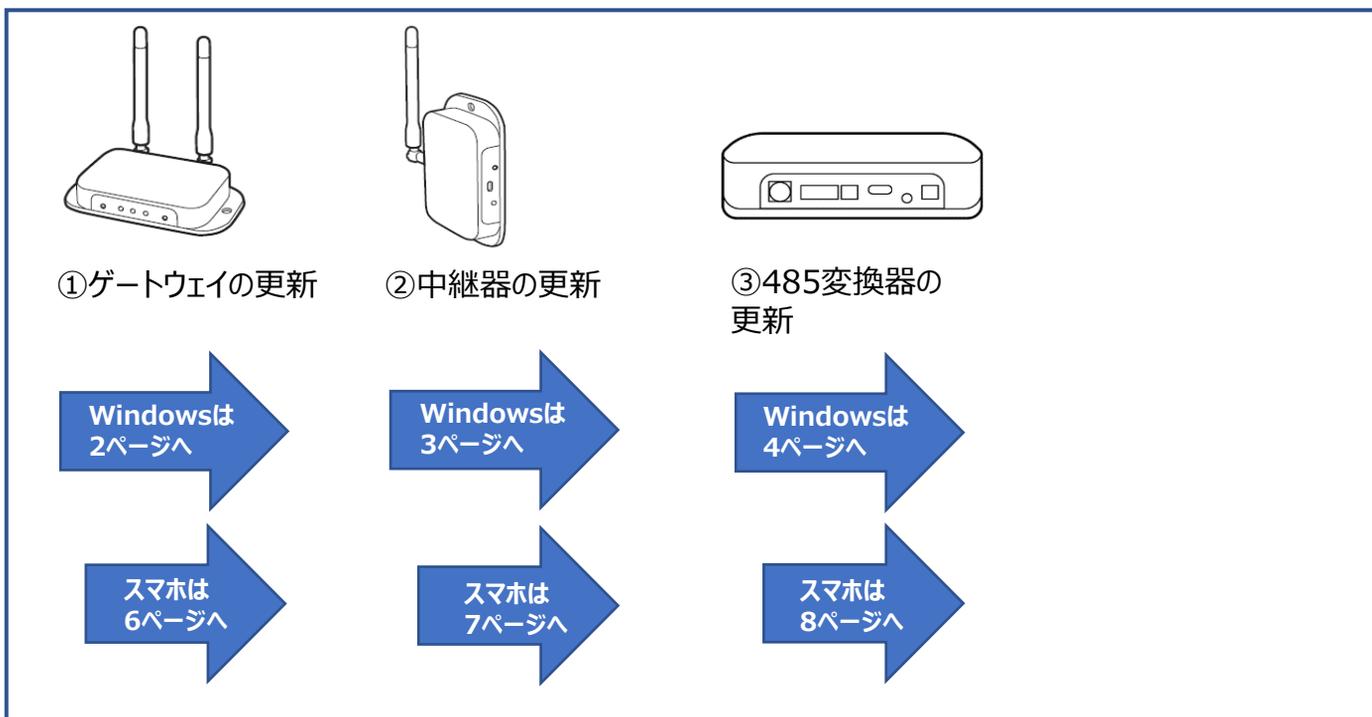
# ファームウェア更新マニュアル

(抜粋版)

Rev.1.0 Date: 2024/07/09

RATOC Systems

# 1 ファームウェア更新の流れ



ファームウェアの更新は①から③の順に進めてください。

- ①最初にゲートウェイのファームウェアを最新版にしてください。
- ②中継器を含む構成の場合、ゲートウェイの更新の次に中継器のファームウェア更新をおこなってください。
- ③ゲートウェイ・中継器のファームウェアを更新後、485変換器のファームウェアを更新してください。

※ゲートウェイ以外の機器はゲートウェイが最新版ファームウェアではないと更新できません。  
※485変換器は、ゲートウェイならびに中継器が最新版ファームウェアではないと更新できません。

## 【更新可能なデバイスについて】

計測で使用中の485変換器はファームウェアの更新を行わないでください。

## 【更新成功時について】

ファームウェア更新に成功したとき（「ファームウェア更新に成功しました」画面が表示された場合）、自動で接続されます。

## 【更新失敗時について】

ファームウェア更新に失敗したとき（「情報の取得に失敗しました」画面が表示された場合）、各機器の電源を入れ直す必要があります。

詳細は10ページへ

## 2 -1. ファームウェア更新 (ゲートウェイ) 《Windows版》

ファームウェアの更新はRSSI/RSRPが可能な限り良い状態でおこなってください。(状態は下記を参照ください)

### ■ LTE受信強度(RSSI)

良い (文字囲み:白) ~-93dBm  
注意 (文字囲み:黄) -94~-109dBm  
悪い (文字囲み:赤) -110dBm~

### ■ LTE電波強度(RSRP)

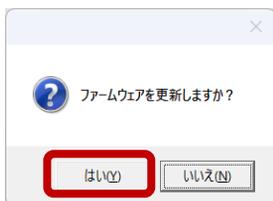
良い (文字囲み:白) ~-105dBm  
注意 (文字囲み:黄) -106~-115dBm  
悪い (文字囲み:赤) -116dBm~

1. アプリ「もろみ日誌クラウド」を起動します。
2. [運用管理] → [ゲートウェイ管理] 画面を開きます。
3. FW更新を行うゲートウェイの [FW更新] をクリックします。

※ファームウェアが最新版の場合 [FW更新] は表示されません。



4. 更新開始確認画面で [はい] をクリックします。



5. 「ファームウェアを更新中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。

※更新にかかる時間は環境により異なります。



更新中は画面を開いたままお待ちください

6. 成功画面が表示されます。[OK] をクリックします。



ファームウェア更新に失敗した場合  
上記6.で「情報の取得に失敗しました」画面が表示されます。  
[OK] をクリック後、ゲートウェイの電源を入れ直してください。

詳細は10ページへ

## 2 -2. ファームウェア更新（中継器）《Windows版》

ゲートウェイのファームウェアを最新版にしてからおこなってください。

ファームウェア更新前に、中継器本体の黒ボタンを短押しし、計測日時が更新するかご確認ください。

Wi-SUN受信強度は「～-79dBm」までであれば問題ありません。「-80dBm～-89dBm（黄色）」の範囲の場合、注意が必要です。

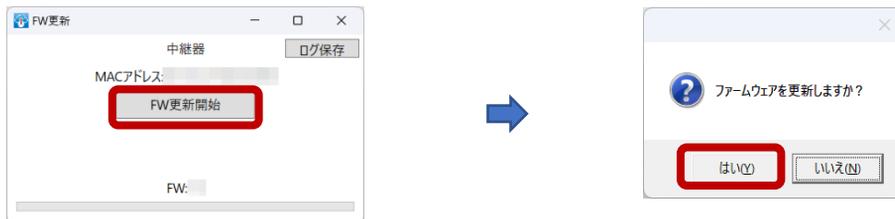
「-90dBm」以上（赤色）では切断し失敗する可能性が高くなるため、受信強度を上げてから実行してください。

1. アプリ「もろみ日誌クラウド」を起動し、ログインします。
2. [運用管理] → [中継器管理] 画面を開きます。
3. FW更新を行う中継器の [FW更新] をクリックします。

※ファームウェアが最新版の場合 [FW更新] は表示されません。

ゲートウェイ	名前	固有番号	計測日時	WiSUN受信強度	FWバージョン	接続状態取得	名前変更	再ペアリング	廃止	FW更新
Gateway B-	35920		2024/05/23 09:47:56	-34dBm	1.0					
GW	中継器		2024/05/23 09:47:58	-34dBm	1.0					

4. [FW更新開始] をクリックし、更新開始確認画面で [はい] をクリックします。



5. 「ファームウェアを更新中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。

※更新にかかる時間は環境により異なります。



6. 成功画面が表示されます。[OK] をクリックします。[×] をクリックします。



ファームウェア更新に失敗した場合  
上記6.で「情報の取得に失敗しました」画面が表示されます。  
[OK] をクリック後、中継器の電源を入れ直してください。

詳細は10ページへ

## 2 -3. ファームウェア更新（485変換器/もろみ警報ユニット）《Windows版》

ゲートウェイのファームウェアを最新版にしてからおこなってください。  
ファームウェア更新前に、定期計測がきていることをご確認ください。

Wi-SUN受信強度は「～-79dBm」までであれば問題ありません。「-80dBm～-89dBm（黄色）」の範囲の場合、注意が必要です。  
「-90dBm」以上（赤色）では切断し失敗する可能性が高くなるため、受信強度を上げてから実行してください。

1. アプリ「もろみ日誌クラウド」を起動し、ログインします。
2. [運用管理] → [温調器管理] 画面を開きます。
3. FW更新を行う485変換器の [FW更新] をクリックします。

※ファームウェアが最新版の場合 [FW更新] は表示されません。



4. [FW更新開始] をクリックし、更新開始確認画面で [はい] をクリックします。



5. 「ファームウェアを更新中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。

※更新にかかる時間は環境により異なります。



6. 成功画面が表示されます。[OK] をクリックします。[×] をクリックします。



ファームウェア更新に失敗した場合  
上記6.で「情報の取得に失敗しました」画面が表示されます。  
[OK] をクリック後、485変換器の電源を入れ直してください。

詳細は10ページへ

### 3-1. ファームウェア更新（ゲートウェイ）《スマホ版》

ファームウェアの更新はRSSI/RSRPが可能な限り良い状態でおこなってください。（状態は下記を参照ください）

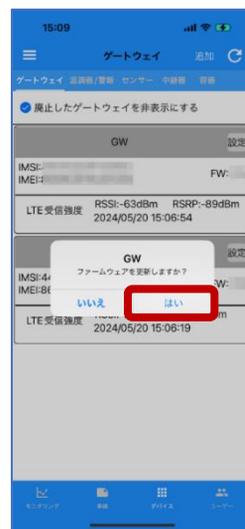
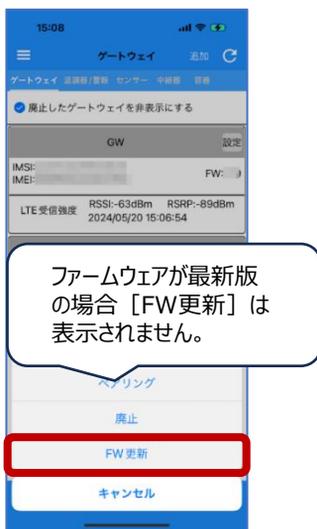
#### ■ LTE受信強度(RSSI)

良い (文字囲み:白) ~-93dBm  
注意 (文字囲み:黄) -94~-109dBm  
悪い (文字囲み:赤) -110dBm~

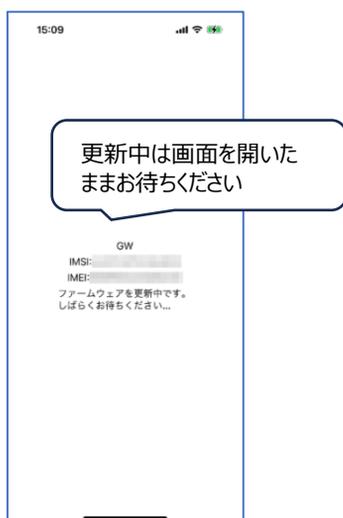
#### ■ LTE電波強度(RSRP)

良い (文字囲み:白) ~-105dBm  
注意 (文字囲み:黄) -106~-115dBm  
悪い (文字囲み:赤) -116dBm~

1. アプリ「もろみ日誌クラウド」を起動、[デバイス] をタップします。
2. [ゲートウェイ] を開き、[設定] をタップします。
3. [FW更新] をタップします。
4. 確認画面表示。  
[はい] をタップします。



5. 「ファームウェアを更新中です。」が表示されます。
6. 成功画面が表示。  
[OK] をタップします。



ファームウェア更新に失敗した場合  
上記6.で「情報の取得に失敗しました」画面が表示されます。  
[OK] をタップ後、ゲートウェイの電源を入れ直してください。

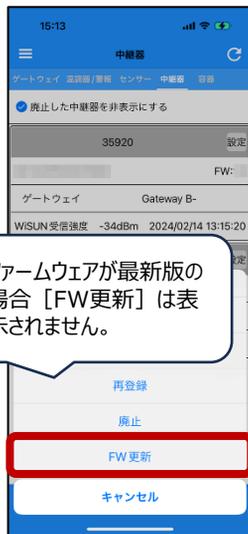
詳細は10ページへ

### 3 -2. ファームウェア更新（中継器）《スマホ版》

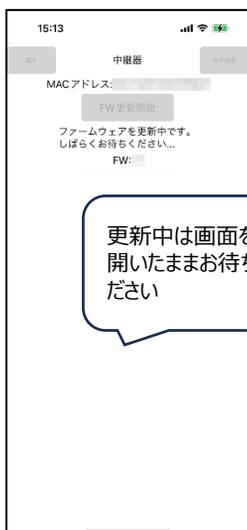
ゲートウェイのファームウェアを最新版にしてからおこなってください。  
ファームウェア更新前に、中継器本体の黒ボタンを短押しし、計測日時が更新するかご確認ください。

Wi-SUN受信強度は「~-79dBm」までであれば問題ありません。「-80dBm~-89dBm（黄色）」の範囲の場合、注意が必要です。  
「-90dBm」以上（赤色）では切断し失敗する可能性が高くなるため、受信強度を上げてから実行してください。

1. アプリ「もろみ日誌クラウド」を起動、[デバイス] をタップします。
2. [中継器] を開き、  
[設定] をタップします。
3. [FW更新] をタップ  
します。
4. [FW更新開始]  
をタップします。



5. 確認画面表示。  
[はい] をタップします。
6. 「ファームウェアを更新中  
です。」が表示されます。
7. 成功画面が表示。[OK] を  
タップし、[戻る] をタップします。



ファームウェア更新に失敗した場合  
上記6.で「情報の取得に失敗しました」画面が表示されます。  
[OK] をタップ後、中継器の電源を入れ直してください。

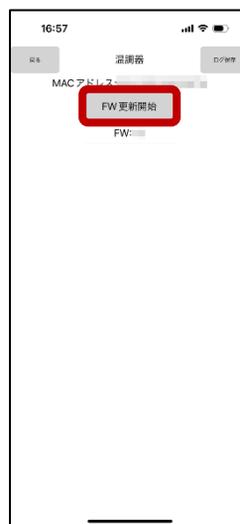
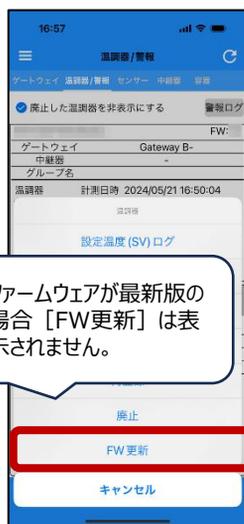
詳細は10ページへ

## 3 -2. ファームウェア更新（485変換器/もろみ警報ユニット）《スマホ版》

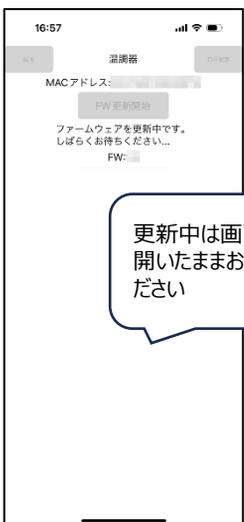
ゲートウェイのファームウェアを最新版にしておこなってください。  
ファームウェア更新前に、定期計測がきていることをご確認ください。

Wi-SUN受信強度は「~-79dBm」までであれば問題ありません。「-80dBm~-89dBm（黄色）」の範囲の場合、注意が必要です。  
「-90dBm」以上（赤色）では切断し失敗する可能性が高くなるため、受信強度を上げてから実行してください。

1. アプリ「もろみ日誌クラウド」を起動、[デバイス] をタップします。
2. [温調器/警報] を開き、[設定] をタップします。
3. [FW更新] をタップします。
4. [FW更新開始] をタップします。



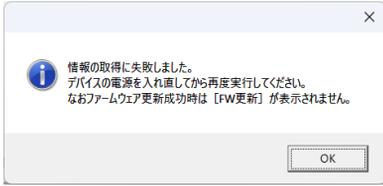
5. 確認画面表示。  
[はい] をタップします。
6. 「ファームウェアを更新中です。」が表示されます。
7. 成功画面が表示。[OK] をタップし、[戻る] をタップします。



ファームウェア更新に失敗した場合  
上記6.で「情報の取得に失敗しました」画面が表示されます。  
[OK] をタップ後、485変換器の電源を入れ直してください。

詳細は10ページへ

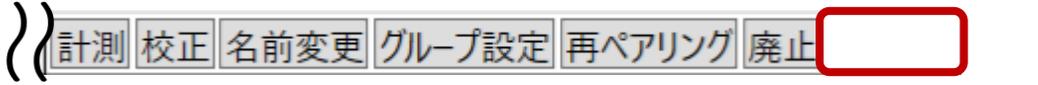
## 4 「情報の取得に失敗した」と表示されたときは



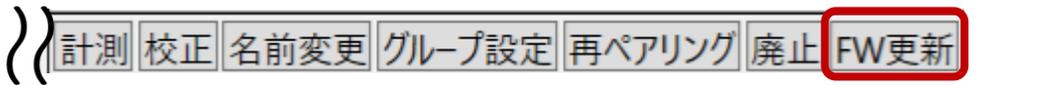
「情報の取得に失敗しました」画面の [OK] をタップします。

各機器の電源を入れ直し、時間経過後(10分以内)、[FW更新] の表示があるか確認してください。

成功しているとき



失敗しているとき



画面例) Windows版のセンサー

[運用管理] - [センサー管理] - 更新実行した温度センサー

失敗しているとき ( [FW更新] があるとき ) ⇒ 各機器ごとに下記を実行

### ○ゲートウェイの場合

電源入れ直し後、しばらくしてから（10分以上経過後）再度ファームウェアの更新をおこなってください。



### ○中継器の場合

電源入れ直し後、LEDが点灯していることを確認後、再度ファームウェアの更新をおこなってください。



### ○485変換器の場合

電源入れ直し後、再度計測が開始されてから（10分～30分ほど経過後）再度ファームウェアの更新をおこなってください。  
※30分以上経過後再計測開始されない場合も、再度ファームウェアの更新をおこなってください。

